チャレンジ！家庭菜園

ニラ（春まき）

多年草のため一度植えると、数年収穫することができます。また、長期間収穫し続けることになるため、畑の準備は入念にしておき、元肥には良質な堆肥を施しましょう。
夏にはとう立ちしますが、品質の良い葉を多く収穫するにはとう摘みや捨て刈りの管理が必要になります。また年数を経ると葉が細るので、3年程で種まきし、更新しましょう。

営農よろず相談のご案内

●「営農よろず相談」では、[農作物の栽培方法に関すること][病害虫の防除に関すること]などを中心にご相談を受け付けております。何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひご利用ください。

☎097-544-6462

※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。

●受付時間
月・水・金曜日（祝日は除く）
8:30～17:00（受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります）

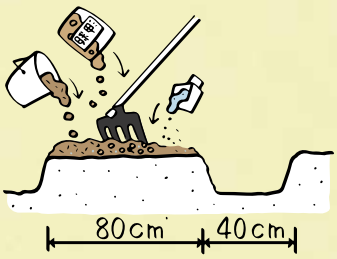
●設置場所／営農部

01 畑の準備

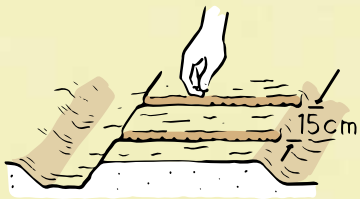
苗床や本畑は種まきや定植の2週間前までに1㎡当たりに堆肥600g、石灰100gを畑全面にばらまき、よく耕しておく。

02 苗作り

苗床準備のために1㎡当たり化成肥料40gを施し、よく耕す。

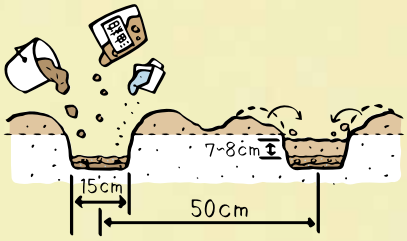


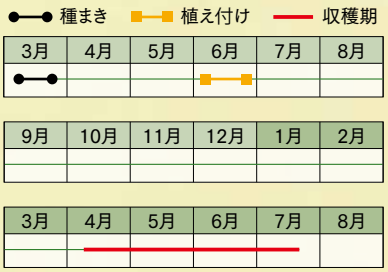
1週間後に1cm間隔で種をまき、5mm覆土する。あらかじめ、板を使い15cm間隔のまき溝を作るとよい。



03 元肥入れ

植え付けする場所に15cm程の溝を掘る。溝の長さ1m当たり堆肥500g、油粕30g、化成肥料40gを施し、その肥料の上に7～8cmの土をかける。

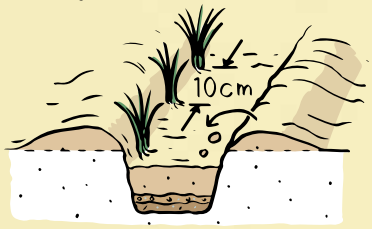




化成肥料…化成肥料8-8-8と同比率のものが好まれます

04 植えつけ

苗が草丈20cm程度になったら、根を切らないように注意して掘り起こす。
1箇所に3～4株ずつ、株間10cmで植えつける。



05 追肥

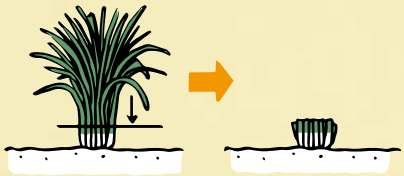
畝の長さ1m当たり油粕30g、化成肥料30gを施肥し、土寄せを行う。
1ヵ月に1回を目安に行い、収穫を始めた後は収穫直後に追肥する。乾きやすい畑では、敷きわらなどで夏の乾燥を防ぐ。

06 収穫

春から初夏にかけて、草丈が20～25cmに伸びてきたら収穫を始める。地面から2～3cmのところで刈り取る。
初めの収穫では1年目の古葉が残るので、刈取後に古葉を取り除いて調製する。

07 捨て刈り

勢いが弱ってきたら、古い葉を刈り取り新しい芽を出させる。



08 とう摘み

2年目以後は7月下旬から8月にとう立ちするので、株疲れや、葉が硬くなることを防ぐために早めに摘み取る。

QRコードでバックナンバーが確認できます。
（スマートフォン対応）

栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。
種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。